

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587048301	科目番号 / Subject code	05870483
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健やかに生きる (生活習慣病を予防する) / Prevention of Lifestyle-Related Diseases		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前村 浩二 / Maemura Kouji, 中尾 一彦 / Nakao Kazuhiko, 尾崎 誠 / Osaki Makoto, 阿比留 教 生 / Abiru Norio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前村 浩二 / Maemura Kouji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前村 浩二 / Maemura Kouji, 中尾 一彦 / Nakao Kazuhiko, 尾崎 誠 / Osaki Makoto, 阿比留 教 生 / Abiru Norio		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会、教育、経済、薬学、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maemura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	大学病院本館9階 循環器内科教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7288		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Emailで受け付けます。maemura@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病は、食事、 運動、喫煙、飲酒などの生活習慣が基盤となって発症する。将来的には2人に1人は発症するが、 既に学生の頃から、その生活習慣が原因となって徐々に進行している。日本食など日本型のライフ スタイルは世界でもトップの長寿社会を達成したが、昨今の急速に欧米化したライフスタイルによ り、糖尿病、肥満、高コレステロール血症の患者が急増している。その中でも特に若者の食事やラ イフスタイルの変化の危機が叫ばれている。本科目ではヒトの体のしくみ、生活習慣病の成り立ち 、アルコールの害について、一般の方が知っておくべきことについて学び、将来にわたって健やか な生活を送れることを目指す。		
授業到達目標/Course goals	1) どのような生活習慣病があるか理解できる。 2) 自分の生活習慣について評価できる。 3) 健康的な食事、運動などの生活習慣について実践できる。 4) マスコミなどで得られる健康についての情報を論理的、批判的にとらえ評価できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業、ディスカッションへの参加状況 (30点)、毎回行われる小テストあるいはレポート (70点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	生活習慣病、高血圧、肥満、動脈硬化、ロコモティブ症候群、アルコール、運動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>自分の体のしくみを理解し、生活習慣病の発症の危険因子を理解することは将来の発症の予防につながります。日本はこれから超高齢化社会を迎えますが、いつまでも健康な状態で若々しくいられる「健康長寿」や「アンチエイジング」を達成するためには、若い頃から生活習慣に気をつける必要があります。本科目では医学的な専門用語はなるべく避けて、一般の方でも知っておくべき内容を中心に解説します。講義だけでなくグループ学習などを通じて健康問題を考え、今どのような生活習慣を心がけるべきか理解し実践して頂きたいと思えます。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回/4月6日3限</p>	<p>生活習慣病とは？オリエンテーション（担当：前村）</p>
<p>第2回/4月6日4限</p>	<p>アルコールと肝障害（担当：中尾・田浦）</p>
<p>第3回/4月13日3限</p>	<p>アルコールと膵臓（担当：中尾・小澤）</p>
<p>第4回/4月13日4限</p>	<p>消化管とアルコール 飲んで良い人、だめな人（担当：中尾・竹島）</p>
<p>第5回/4月20日3限</p>	<p>メタボに続く第2の国民病ロコモ（担当：尾崎）</p>
<p>第6回/4月20日4限</p>	<p>骨を健康に保ちロコモを防ごう（担当：尾崎・千葉）</p>
<p>第7回/4月27日3限</p>	<p>ロコモ予防は運動から（担当：尾崎・松林）</p>
<p>第8回/4月27日4限</p>	<p>高血圧はなぜこわい？（担当：前村・河野）</p>
<p>第9回/5月11日3限</p>	<p>心筋梗塞はなぜおこる？（担当：前村・小出）</p>
<p>第10回/5月11日4限</p>	<p>糖尿病は病気の宝庫？重症化症例に学ぼう！（担当：阿比留）</p>
<p>第11回/5月18日3限</p>	<p>糖尿病の特効薬？お腹がすかない食事療法！??（担当：阿比留・原口）</p>
<p>第12回/5月18日4限</p>	<p>肥満と生活習慣病？肥満を治す驚きの最新治療！（担当：阿比留・堀江）</p>
<p>第13回/5月25日3限</p>	<p>気をつけよう！生活習慣病と間違えられやすいホルモンの病気（担当：阿比留・安藤）</p>
<p>第14回/5月25日4限</p>	<p>コレステロールが高いと言われたら（担当：前村・池田）</p>
<p>第15回/6月1日3限</p>	<p>総合討論、まとめ（担当：前村）</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587048501	科目番号 / Subject code	05870485
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健やかに生きる (日本の医療制度と健康問題について考える)COC+ / Healthcare Systems and Current Health Problems in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	安部 恵代 / Abe Yasuyo, 前村 浩二 / Maemura Kouji, 青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 西村 貴孝 / Nishimura Takayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	安部 恵代 / Abe Yasuyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	安部 恵代 / Abe Yasuyo, 青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 西村 貴孝 / Nishimura Takayuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化社会、教育、経済、薬学、水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yasuyo-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	医学部公衆衛生学		
担当教員TEL / Tel	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日14:00-15:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	健康に生活するうえで直面している問題について、多方面から理解し、主体的に考える。		
授業到達目標 / Course goals	日本の医療制度について理解する。 主な健康問題について理解する。 自分なりの意見をもち主体的に議論に参加できる。 適切に情報を収集し、取捨選択することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	出席点20点 発表、討論への意欲的参加30点 レポート点50点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	医療制度、健康問題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし。講義内で必要に応じて紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	主体的な参加を希望します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

1	ガイダンス、学習目標と方法
2	日本の医療制度と健康問題（講義）
3	グループ学習（課題決定、情報収集）
4	グループ学習（情報収集、グループ討論）
5	中間発表
6	グループ学習（発表の準備、資料作成）
7	発表・全体討論（1）
8	発表・全体討論（2）
9	グループ学習（課題決定、情報収集）
10	グループ学習（情報収集、グループ討論）
11	中間発表
12	グループ学習（発表の準備、資料作成）
13	発表・全体討論（1）
14	発表・全体討論（2）
15	総括、レポート作成

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/16		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587055901	科目番号 / Subject code	05870559
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健やかに生きる (環境因子による肺や腎臓の障害を考える)COC+ / Think About Lung and Kidney Disorders Due to Environmental Factors		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 前村 浩二 / Maemura Kouji, 坂本 憲徳 / Sakamoto Noriho, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	迎 寛 / Mukae Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 坂本 憲徳 / Sakamoto Noriho, 河野 哲也 / Kawano Tetsuya, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Target students	選択 全学 多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hmukae nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	医歯薬学 呼吸器内科学、医学部附属病院 腎臓内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7273		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 上記問い合わせください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	肺や腎臓は外界の影響を強く受ける臓器である。肺においては、喫煙、大気汚染、などの外気に直接触れることで多くの障害を受けることが知られており、腎臓においても喫煙や食生活などの生活環境が大きく影響する。どのような障害を生じどのように回避するかを学び、考える。		
授業到達目標 / Course goals	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。 環境、ニコチン依存症、食生活を中心とした環境と健康に対する長崎県の取り組みを学修し、適切に将来展望を見据えた説明ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	出席、プレゼンテーションへの役割評価、定期試験 出席32点 (1回2点)、プレゼンテーション38点 (19点x2)、定期試験30点：総計60点以上で合格。追試、再試は行わない。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	環境、ニコチン依存症、食生活、長崎県		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書・教材・参考書：特になし・必要に応じて資料を配付する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	環境と健康の関係性において、社会一般の多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野との関係性について考えてみてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入：環境と肺障害（長崎県の課題を通して学修）
第2回	プレテスト
第3回	被爆県長崎で学ぶべきタバコの健康問題?COPDを中心に?（長崎県の取り組みを通して学修）
第4回	なぜ日本は国民にタバコを売るのが?我が国と世界のタバコ問題?
第5回	職業と肺疾患（塵肺を念頭に）
第6回	生活環境と肺疾患（過敏性肺炎を念頭に）
第7回	環境と感染症 講義（長崎県の取り組みを通して学修）
第8回	環境と感染症 学生プレゼンテーション
第9回	身近にある発がん性物質
第10回	肺がんの早期発見と治療
第11回	PM2.5と健康（長崎県の取り組みを通して学修）
第12回	PM2.5と健康 学生プレゼンテーション
第13回	生活習慣と腎臓病
第14回	腎不全の治療法（透析、移植）
第15回	まとめ
第16回	定期試験